

宇野港フォトコンテスト2017 入賞作品講評

総評	今年もレベルとしては、高い作品が集まったと思います。狙いをはっきりさせ、周到的な準備を経て、それを捉えようとする姿勢は評価できるものです。一方で、対象に限られていることから、同じ様な雰囲気を持つ作品が重複しており、更なる工夫と発見を必要としていると思います。難しい条件の中では、より大胆なアングルや、タイミングの捉え方に十分気をつける必要がありますが、写真の本質である“感動の発見”をより重視し、挑戦的な作品が制作されることを期待しています。		
賞名	タイトル	氏名	講評
最優秀賞	姉妹そろってお見送り	最相 政実	出港のシーンを物語性を持たせて、印象的に表現しています。自然と船尾に視線が行くように、少女達の振る左右の腕がタイミング良く捉えられており、アングルやフレーミングといった点でも優れた作品に仕上がっています。
優秀賞	歓迎の小さなステップ	中尾 範雅	審査員における評価が高い作品です。子供達の愛らしい姿とそれを眺める乗客の様子を、望遠レンズの効果を上手く使い捉えています。唯一、光があまりなかったことから、少し暗い印象となってしまったのが惜しまれます。
優秀賞	若きクルー	片山 三行	この作品も、素晴らしいアングルと、若者達のはじけるエネルギーを感じさせるベストなタイミングで撮影されており、評価の高かった作品です。
特別賞	日本丸来港	大塚 寿宏	帆船を、船上から捉えた物で、港の賑わいを感じるこの出来る作品です。
特別賞	輝く日本丸	村角 篤一	イルミネーションの灯った帆船が印象的に浮かび上がっています。ややフィルター効果が効き過ぎている感がありますが、フレーミングや、撮影のタイミングは良いと思います。
特別賞	大きいなあ	加藤 誠司	帆船を大きく捉えつつ、画面中央手前に少年を入れたことで、よりその大きさが強調されています。
特別賞	チヌ二世と日本丸	白神 佐代子	あたかも、巨大なチヌに帆船が飲み込まれそうなアングルを選び、併せて子供達の愛くるしい姿を、タイミング良く捉えています。
特別賞	太平洋の白鳥	馬場 琢	帆の張られた帆船の姿をダイナミックに捉えています。多くの人物がここを訪れていたことが分かります。やや右上がりのアングルは、時に不自然と感じられるかもしれませんが、今回は帆船の力強さを強調しているように思います。
入選	鯉のぼりで歓迎	木下 雄介	鯉のぼりと戯れる子供達の姿を捉えています。僅かにアングルを変えることで、より右奥の子供の存在を活かせると思います。
入選	帆船にジャンプ	斎藤 孝子	帆船をバックに、二人の女性の元気な様子を捉えています。表情が素晴らしい一方で、僅かに足先が切れてしまったのが惜しまれます。
入選	日本丸を見に行こう！	上田 利博	広角レンズの効果を使って、手前のミニチュア列車に乗る子供達の、楽しそうな姿を上手く捉えています。
入選	日本丸	福島 一郎	日の出を背景に、帆船のマストがシルエットで浮かび上がる作品で、そのタイミングをしっかりと狙って捉えています。
入選	キャンドルサービス	芳地 富正	手前に人物を大きく捕らえ、遠近感を強調したアングルが印象的な作品です。